

GOKURAKUJI DAYORI
極楽寺だより
2024(令和6)年4月号



発行所：極楽寺（浄土真宗本願寺派）〒759-3803 山口県長門市三隅下野波瀬 3633 ☎0837-43-0625

春の永代経法要のご案内

慈しみの光あふれる春となりました。

生命の息吹を感じるとき、お浄土の人となられた方々が懐かしくしのばれます。

阿弥陀さまのおすくいのご恩、お育てのご恩を味わい、仏祖のご恩を感謝して、春の永代経法要を次の通りお勤めします。

お誘いあわせて、お参り下さい。

四月十六日（火）

昼一時半

夜七時半

四月十七日（水）

昼一時半

御講師

美祢市 寂定寺住職

柏 宗桜 師



花まつり



四月八日は、お釈迦さまのご誕生を祝う花まつり。花御堂を飾り、お釈迦さまの誕生時のお姿に甘茶をかけてお祝います。花御堂は、生誕の地「ルンビニーの花園」をあらわし、甘茶は「ご誕生の際に、甘露の雨が降った」という言い伝えによるものです。極楽寺では、春の法要の二日間、本堂に花御堂を飾ります。ご自由に甘茶をかけ、お参りください。



知らないと知るからこそ

私は、葬儀やお通夜にお参りする際、皆さんの前で「葬儀とは『笑いあり、涙あり』なのです」と話すようにしています。なぜなら、遺族を守るために…。

近頃は、インターネットやSNSの普及で、様々な声を取り上げられる時代になりました。その為、これまで届かなかった少数意見や、違った角度からの価値観も注目されるようにもなりました。それはとても大切なことですが、同時に自分の価値観だけで決めつけた言葉も、飛び交うようになったのです。「お葬式で笑うなんて、不謹慎だ!」といった言葉も。

でも、葬儀は別れを悲しむ場だけではありません。亡き方と出会い直す場でもあるのです。あんなことがあったなあと、共に過ごした日々を振り返る。そこには笑いもあれば、涙もある。それが人生ではないですか。葬儀では、久しぶりの再会もあります。そこで生まれる笑いも、亡き方からの贈り物だといえるでしょう。

～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～

それを「不謹慎だ!」と決めつけるのは、葬儀を知らない人の、いや人生を深く知らない人の一方的な意見です。勿論、そんなことを言う人はごく一部ですが、近頃は「誰かに、何か言われるのでは」と怖れる

空気があるのは確かです。それが委縮を生めば、葬儀から人間性が奪われかねません。だからこそ私は、遺族を守るために一言添えるのです。葬儀とは、「笑いあり、涙あり」だと。

そして実は、悲しみ方も人それぞれなのです。号泣される人もいれば、悲しすぎて涙が出ない人もいます。深く傷つきながらも冷静にふるまう人も、悲しみを内に秘め何年も経ってから涙を流される方もあります。私は葬儀や七日参り、法事を通して、そんな人たちと出会ってきました。人間って、安易に決めつけることはできないと、つくづく思い知らされています。

仏教が警戒する三大煩惱のひとつ「愚痴」は、真理に対する無知

東京の築地本願寺が発行する「築地本願寺新報」の昨年の四月号に執筆したものです。実は、今年も執筆の依頼があるのですが、そちらはいずれまた掲載します。

をあらわし、「無明」とも表現されます。「無明」と聞くと大抵は、何も見えない暗闇で手さぐりしながら彷徨う姿を思い浮かべるのではないのでしょうか。「何も見えない(無明)」「何も知らない(無知)」というイメージを。

ところが「無明」とは、もつと深い迷いなのだと言えられるのです。迷っていると知る者は、道を探し、求めようとし、謙虚な態度で聞くことも、自分の行為を振り返ることもするでしょう。しかし、迷っている自覚のない者は、道を探すことも聞くこともしない。相手を、そして自分を決めつけて、ひたすらに迷いの奥に突き進んでいく。そんな、確信に満ちた迷いの姿を「無明」というのだ。それが、自他を苦しめる生き方を生み出すのだ。

親鸞聖人は、自らを「愚者」と名のられた方でした。それは、迷いの中にいることにも気づかず、迷いを深めている私を、それでも見捨てず寄り添ってくださる阿弥陀様のはたらきに出会い、知らされた姿でした。温かなまなざしの中で、自分の無知を知ることからこそ、聞き、求めていく歩みが生み出されたのです。その営みに、私は限りない豊かさを感じています。■



古い仏具 使わないお線香 お寺へお持ちください

本堂に箱を用意しています！
正面から入って、右手奥に箱があります。

「古い仏具は、どうすれば良いでしょうか」という問い合わせがあります。基本的には、仏具屋さんにお問い合わせが良いのですが、お寺にお持ちいただいても結構です。また、使われないお線香があれば、お寺で使わせていただきますので、お持ちいただけたらと思います。本堂に箱を用意しています。

かわづどくら
駐車場の河津桜 ライトアップしました！



極楽寺の駐車場の河津桜が、今年も見事な花を咲かせてくれました。今回はライトアップにチャレンジしてみたところ、げんそうてき ふんいき幻想的な雰囲気となりました。ただ雨が多くて、この感動を共有できた人が少なく、きょうゆう残念です。来年も必ずライトアップします！

第二回極楽寺ギャラリー開催しました！

昨年に続き、春の彼岸会法要で「極楽寺ギャラリー」を開催しました。テーマを「花」として、久原の香月家にご協力いただき、油彩・日本画・水彩の絵画を展示。アートに触れる彼岸となりました。



【桜のライトアップ】【極楽寺ギャラリー】の様子も、短い動画にまとめました！

下の QR コードから、動画を見ることができます。極楽寺のホームページからも見れますよ！

桜の →
ライトアップ動画



極楽寺 →
ギャラリー動画



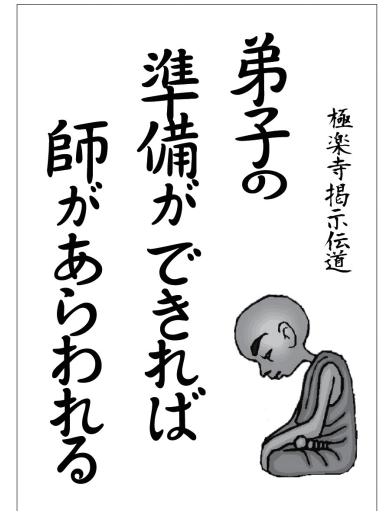
【QR コードの読み込み方】

- ① スマホで、「カメラ」をきどう起動してください。
- ② カメラの画面で、QR コードをうつ映します。
- ③ リンク先が表示されるので、タッチしてください。



月々の言葉

Monthly Words



4月の言葉

今月の言葉には、違和感を覚える方もおられるのではないでしようか。普通は、「尊敬すべき師がいてこそ、弟子がある」と考えます。ところが、まずは「弟子の準備」が先だと。これでは順番が違いますよね。でも、私たちの普通こそが、実は間違いなのではないか。この言葉から、そう問われるように感じるのは。例えば、近頃の学校の先生は、あまり尊敬されなくなつてしまいました。卒業式で「仰げば尊し わが師の恩」と歌われることもありません。昔は、一応の建前として「先生は敬うものだ」という共通認識がありました。ところが今や、そんな考えは崩れつつあります。

こうなつた理由は色々あるのでしようが、大きなもの

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

一つとして、社会全体が

「消費者」化しているのでは

ないか。つまり、教育サービス

を買うというお客さん意識

が強まったからではないかと思うのです。

「私には、このサービスを受ける権利がある。あなたには、プ

ロとして私にサービスする義務がある」、そんな消費者と提供者

の関係になつた。だから先生は値踏みされ、「尊敬に値しない人

は、尊敬する必要がない」と考えるようになってしまつたのでは。

「いや、そのどが悪い！」と言いたい方もあるでしょう。

それほど、この感覚は当たり前のように私たちに染みついています

す。ところがこれこそが、学びを妨げる大きな要因になつてい

るのではないかと、考えさせられるのです。

なぜなら、消費者の立場をとる際に値踏み基準となるのは、

その時点での自分の価値判断です。欲しいもの、ニーズに合うも

のだけを良いサービスとして評価する。洋服やアクセサリーを買

うように、知識や情報を身につける。ならば、装飾品は増えても、

「自分」そのものは変わりません。

本来「学び」とは、自分が成長し変化していくものであるは



ずです。これまで握りしめていた考えを、古い衣服を脱ぎ捨てるように惜しげもなく捨てていくこと。「なんと小さなものの方に見方、縛られていたのだろうか」と、これまでの価値観が揺さぶられ、世界の大きさに出会うこと。ものの見方が変わり、深く豊かに味わえるように成熟していく。これが学びという営みでしょう。そもそも、未熟な者は「何をもって成熟というのか」を、理解できません。なぜなら、未熟だから。自分の成長は、かつての自身を思い浮かべ「なんて未熟だったのか」「一面的な考えしか、できていなかった」と赤面の思いと共に振り返る時に、初めて感じられるもの（これ、私の経験そのものです。振り返れば、お恥ずかしいことばかり。しかし、そのことに気づけることが、成長の証でもあるでしょう）。このような事後的な形でしか、自覚できないのです。

だから成熟とは、それまでのニーズとは違う形であらわれます。自分が思いもしなかった自分になっていく。今までの自分の思いを超えた世界と出会うということなのです。この「私には知らない世界があつて、今の自分には見えないものがある。成熟することで、どんな世界が見えてくるのだろうか」とワクワクすること、子どもの頃から消費者意識が染みついてしまうと、

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

理解しづらいのではないかと思います。

実は、その学びの扉を開くカギが、「敬う」という態度にあるのだと教えられるのです。インドの高僧 龍樹菩薩に「雨が降ると水は山の頂に留まらず、必ず低いところに流れ込む。同様に頭を下げ自分を低くして師を敬うならば、仏法の功德はその人に入り込む。しかし、驕り高ぶり自分を高くするならば、法の水は入らない」という譬えがあります。つまり学びとは、敬う態度から始まるのだと。

ならば、まず整えるべきは「敬う態度を養う」環境ではないでしょうか。頭を下げ、自分を低くする。それは卑屈でも、惨めな態度でもありません。教えを受け止めることができるよう、心をオープンにしておくためのものなのです。

だからこそ、昔は社会全体で「先生は敬うものだ」という世間智が共有されていたのではないかと。

そう指摘されるのが、「プロ教師の会」の名誉会長で、長く公立高校の先生を勤められた、作家の諏訪哲二さんです。諏訪さんは、「教師への尊敬」は教師にとってではな



く、子どもにとって重要なのだ」ともいわれています。

「どんな子ども（生徒）でも教師を「尊敬」する気持ちを持つている方が、教育（学習）の成果は上がるのである。

／子どものときから「あの先生はたいしたことない」と思っているより、「あの教師は信用できる」と思っていた方が勉強も人格形成も進む／学ぶということは自分が学ぶ者として

まだ「小さい存在」であるという自覚が必要だからである。もちろん、いい教師、ダメな教師を見分けるのも子どもの成長にとっては必要なことではあるが、子どものときは他人を値踏みする習慣を身につけないで「信頼」から歩み始める

のがいい」（『尊敬されない教師』諏訪哲二）

先生全員が尊敬されるような人格者かどうかは別問題。学びのパフォーマンスを上げるためには、その態度が不可欠なのだ。

これは学校教育や子どもたちだけの話ではありません。私たちの生き方そのものにも、そして仏法を聞くことにも通じるのではないのでしょうか。

自分が持っている価値基準を、問い直す。自分の小ささを自

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

覚し、敬う態度を身に着ける。これを浄土真宗では、「聞」と言い表してきました。心をオープンにすることで、阿弥陀様の願いとはたらきを聞く準備を整える。そこには、思いもよらない豊かな世界との出遇いが開かれる。そんな歩みの歴史が、南無阿弥陀仏のお念仏にこめられて、私たちに届けられているのです。私を導いてくださる師は、既に私の身近なところにおられ、呼びかけられていたのです。

まずは「弟子の準備」が整わなければ、師と出会うこともありません。自分を高くしていることに気づかなければ、どんなに尊い言葉でも届くことはないのです。■



お念珠修理いたします。
気軽に、お寺へお持ちください。



5月の言葉

五月は薫風の季節と言われます。薫風とは、若葉の薫りを含んだ穏やかな風のことです。夏の兆しをばらんだ風が緑の樹々を渡り、匂うような清々しさを伝えてくる。そんな生命力に満ちた季節を感じた人たちが、「風薫る」という美しい言葉で表現されたのです。ところが私たちは、エアコンで管理された空間に閉じこもり、豊かな世界を見失ってはいないでしょうか。時には窓を開け、風を感じ、薫りや季節の移ろいを味わってみる。そんな時、これまでの景色が違うものに見えるてくるはずです。

考えてみれば、昔の家は風通しが良いものでした。それは季節の移ろいに限らず、人の出入りも多いものでした。プライバシーはなく、思い通りにならないこともありました。様々な音や声が行き交い、

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

お節介やお世話も溢れていたものです。困った時には、お互い様。助け合い、支え合うコミュニケーションも、風通しの良い空間があればこそ。しかし現代社会の家は気密性が高く、プライバシーが守られる作りとなりました。自分の思い通りにできる快適な空間を求めたライフスタイルへと、変化したのです。

ところが仏教では、「思い通りにしたい」という思いが強いほど、苦しみもまた強くなると考えます。確かに思いが強いほど、「思い通りにならない」ことへのストレスは増えていきます。今まで気にならなかった他者や音が、快適な空間を邪魔するものに思えてくる。些細な音が気になり、お節介を鬱陶しく感じ、人に迷惑をかけられることを嫌がるようになる。コミュニケーションは薄れ、孤立が深まります。順調なうちはそれでも良いのかもしれませんが、人生そう上手くはいきません。困った時が大変です。「迷惑をかけられたくない」という思いの強さが、「迷惑をかけてはいけない」という思いとなり、助けが呼べなくなってしまうのです。何より、「思い通りにできないのは、自分がダメだから」と自らを責め始めると厄介です。思いが強いほど逃げ場もなくなり、「こんな自分は、生きていく資格がない」と自分を追い込むことにもなりかねません。

月々の言葉

※ 『築地本願寺新報』二〇二〇年五月

号に、住職が執筆したものを転載

致しました。今月の言葉に、ピツ

タリだったのです。



ちにはたらきかけてくださっています。■

さあ、窓を開けてみませんか。穏やかで薫りに満ちた風が、私た

先達は「薫習」「お育て」という言葉で表現されました。

少しずつ育てられていくのです。このような出遇いを、仏道を歩む

なな思いは簡単には変わりませんが、薫りが身体に染みつくように

れ、これまでの景色が違うものに見えてきます。とはいっても頑

っていた自分の姿、支えられ、ゆるされていたことにも目覚めさせら

ていた世界の小ささを知らされ、視野が広がるのです。迷惑をかけ

て苦しんでいるのではないですか」という呼びかけに、閉じこもつ

らせてくださいます。「あなたは、あなたの思いに縛られて、かえつ

様の教えは、窓の外から吹き込む風のように、広々とした世界を知

だからこそ、風通しを良くしておくことが大切なのでしょう。仏

物でお布施 mono de OFUSE

≡ 家庭で眠っている物を、周りの人のために、活かしませんか。下記の物があれば、お寺までお持ちください。

書き損じはがき・未使用切手・未使用テレホンカード・商品券やビール券など金券・CD・DVD・ゲームソフト・ゲーム機器など。

未使用タオルやバザー品となるようなものも、受け付けています！



プルトップも、集めています！

本堂正面から入って右手奥に、回収箱を用意しています。

能登半島地震の募金箱を本堂に設置しています

近頃は、小銭を銀行や郵便局に持っていくと、手数料をとられるようになりました。一円玉を貯めていたりすると、手数料の方が高い場合もあって…。でも山口銀行では、「この募金先に振り込みます」と指定すれば、手数料がかからないのだそうです。お寺で取りまとめますので、皆さんのご自宅に小銭を貯めたものがあれば、ぜひこの機会に活かしませんか。

ご協力、よろしくお願いいたします。

ないじん げじん 「内陣・外陣」

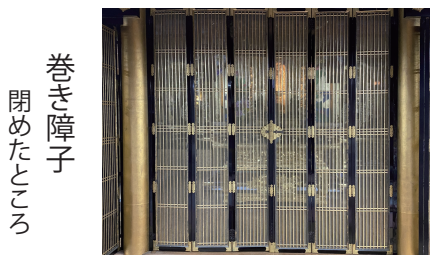


内陣とは、ご本尊である阿弥陀如来像をはじめ、親鸞聖人や蓮如上人の御影（掛け軸）が安置されている場所です。それに対し外陣は、一般の人々がお参りする場所を言います。他宗派のお寺に

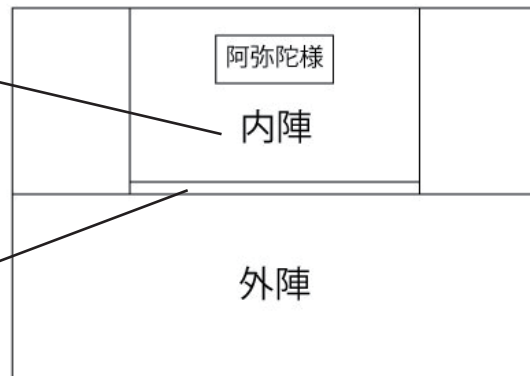
お参りすると、「外陣が狭いなあ」と思われる方もあるのでは。これは逆で、浄土真宗のお寺が特別に広いのです。仏法を聞くことを大切にしている浄土真宗の特色が、寺院設計に表れているからだと言えるでしょう。他にも、内陣と外陣の境目に、巻き障子が設置してあります。これは、巻き障子を閉めて、お寺を会食や会合の場として使っていたからです。浄土真宗のご門徒はお



寺を中心に、手を取り合いながら生きてきたことが知らされます。



巻き障子
閉めたところ



日頃耳慣れない、お寺で使われる言葉を、「お寺の業界用語」で紹介する、『お寺の業界用語』。ぜひとも覚えて、お寺に親しんでいただけたらと思います。

極楽寺だよりを送りませんか

都会に出ておられる子どもさん、お孫さんたちへ。有縁の方々へ。お寺へお申し出下さい。直接郵送します。送り先が増えると、住職はうれしいのです。

納骨堂新築計画 スタートしています

新規加入者募集中 詳しくはお寺まで

森達也監督作品「福田村事件」 日本アカデミー賞ノミネート！

以前、極楽寺に講演に来てくださった森達也さんの監督作品「福田村事件」が、日本アカデミー賞最優秀作品賞・監督賞・脚本賞にノミネートされました。

残念ながら大賞には届きませんでしたが、クラウドファンディングで資金集めをした低予算の映画ながら、評価も高くロングランヒット！現在は、U-NEXTで配信されており、DVDは4月3日から販売されます。

長らくお付き合いさせていただいている住職も、感無量。森さん、おめでとうございます！



『福田村事件』1923年9月、関東大震災から5日後の千葉県東葛飾郡福田村。朝鮮人に対する悪意ある流言飛語を信じた村人たちによって、香川からやって来た行商団9人が殺害される事件が発生する。

監督：森達也

キャスト：井浦新・田中麗奈・永山瑛太・東出昌大・豊原功補
ピエール瀧・水道橋博士 他



極楽寺ホームページ

極楽寺.comで検索 又はQRコードから





第39回児童念仏奉仕団のご案内

Oshirase

大津東組（長門・三隅地区の浄土真宗寺院）では、夏休みを利用して小学三年生から中学一年生を対象に、ご本山参りを企画しております。是非、ご参加のお呼びかけをお願いします。

- ◆ 期 日 2024(令和6)年7月30日(火)～8月1日(木)二泊三日
本願寺参拝 大阪ユニバーサルスタジオジャパン
- ◆ 対 象 小学三年生～中学生
- ◆ 参加費 47,000円(中学生は、58,000円)
帰敬式・記念写真代を含みます。
- ◆ 申込み 6月20日までに極楽寺へ ※ 詳細は、お寺へおたずねください。



仏事、葬儀、納骨…、わからないことや
困ったことがあれば、極楽寺にご相談ください。

ご遠慮なく、どうぞ 0837-43-0625



緊急の場合は、真夜中でも結構です。

住職が不在の時は、かけ直しますので、お寺の者に電話番号をお知らせください。



□ おたにしやうへい 大谷翔平選手が結婚しましたね。どんなお相手なのかと私もきやうみしんしん興味津々でしたが、エスカレートしていく報道に、その思いは段々と冷めていきました。好奇心を満たすためなら、何をしてもいいわけではありません。いくら有名人であっても、どこかでブレーキをかけることは必要だと思います。私たちが興味を示すほど、マスコミは過熱するのですから。□ しんちやう 大谷選手は慎重で、しかも上手にじやうずマスコミへの対応をしていました。一方、フィギュアスケートのはにゆうゆうずる羽生弓弦選手は、残念なことに

あまり上手くはいかなかったようです。しかしマスコミ対応がまずいくらいで(あえて「くらいで」と書きます)、叩かれる状況って異常だと私は思うのですが、そう思う私の方が異常なのでしょうか。□ マスコミが「あの人は、叩いてもいい」と指名すれば、みんなが安心していじ虐めることができる。そんな社会になりつつあるような気がします。今こそ、マスコミの人たちにも、見る側の私たちにもブレーキを！しかし、こんなことを書くと、今度は私が叩かれるような気がしてしまう今日この頃でもあります。(住) ※この原稿を書いた直後に、大谷選手の通訳の解雇が発表になりました。人は大金を前にすると、我を失ってしまうのですね。ますます、ブレーキの大切さを考えさせられました。

次回法座の予定

仏教婦人会降誕会 5月21日(火)

夏法座 6月12日(水) 13日(木)

御講師 岡本達美 師(山口市蓮光寺住職)